



信州秘密の酒頒布会 2025
7月号 お品書き

信州銘醸(上田市)

丸子の地で、江戸や明治の世から続いた4つの蔵が、共同瓶詰を始めた昭和33年に誕生。その後、昭和48年には造りもひとつになった合併蔵。

-銘柄情報-

「喜びを久しく盛り上げよう」と、4つの蔵の技と心意気が合わさってできた銘酒が「喜久盛（キクザカリ：明峰喜久盛・秀峰喜久盛）」です。

「瀧澤」は2003年に誕生して以降、全国の多くの地酒ファンを魅了しています。

和田峠にある日本一の軟水と言われる「黒曜水」を仕込み水に使用。

更に「鼎（カナエ）」は、当店を入れて、全国17店舗のみの激レア酒。

-商品情報-

各コース、通常出荷が一切ない作品となります。

コースで醸造年度も変えています、フレッシュ感を持ち合わせています。



喜久盛

KIKUZAKARI

※ゴールドコース・プラチナコース 共に火入れ

高天 KOUTEN

高天酒造 岡谷市

明治4年、初代：高橋巴喜之助 により創業しました。

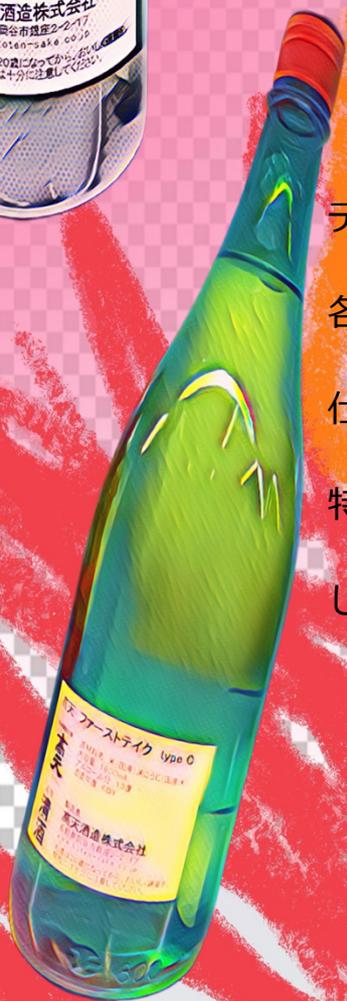
2015年から蔵元の娘でもある、女性杜氏 美絵さんが積極的な酒造りを展開しています。

-銘柄情報-

銘柄の「高天」は、祖先の戒名 高天良橋禪定に由来します。

-商品情報-

テーマは「ファーストテイク」。頒布会で初めての挑戦を各コースでしました。各コース「酒造米を2種類使用」の仕込みに挑戦し、酵母で風味の差をはっきりさせました。特に「プラチナコース」は、夏のレモネード的風味を意識しました。



※ゴールドコース・プラチナコース 共に火入れ